

# 石岡市の家計簿

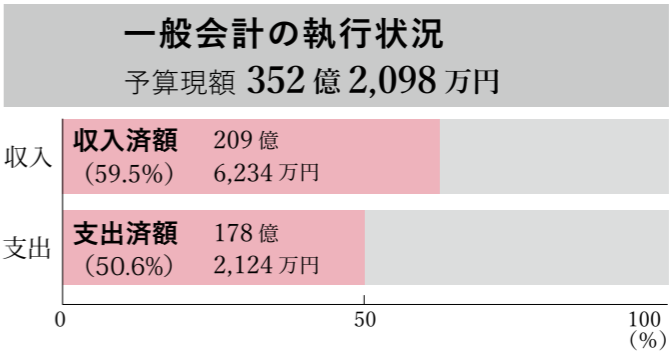
**市**では、税金や国からの補助金などがどのくらい入り、どのように使われているかという、市の家計簿ともいべき財政事情書を年2回（2月・8月）公表しています。

今回は、平成30年12月31日現在の財政状況をお知らせします。

## 平成30年度 一般会計予算

### 収入と支出の状況

平成30年度一般会計の当初予算額は320億6000万円でしたが、前年度からの繰越額28億3303万円、補正予算額3億2795万円を加えて、12月末の予算現額は352億2098万円です。12月末までの収入額は209億6234万円（予算額に対する収入割合は59・5％）、支出済額は178億2124万円（予算に対する支出割合は50・6％）です。



（上段：対予算、下段：対収入済額）	
市民1人当たり	129,689円
1世帯当たり	316,729円
	100,731円
	246,008円

人口 75,262人  
世帯数 30,817世帯  
（平成30年12月31日現在）

## 特別会計の収入と支出

	予算現額 (12月末)	収入済額 (4-12月)	予算に対する割合	支出済額 (4-12月)	予算に対する割合
国民健康保険	86億 6,305万円	52億 5,240万円	60.6%	50億 6,535万円	58.5%
下水道事業	24億 432万円	4億 8,333万円	20.1%	11億 4,945万円	47.8%
駐車場	2,760万円	2,330万円	84.4%	338万円	12.2%
農業集落排水事業	3億 4,932万円	3,496万円	10.0%	1億 7,147万円	49.1%
霊園事業	1,760万円	1,776万円	101.0%	520万円	29.5%
介護保険	77億 7,380万円	43億 2,468万円	55.6%	43億 5,838万円	56.1%
介護サービス事業	3億 1,232万円	1億 5,114万円	48.4%	2億 2,432万円	71.8%
後期高齢者医療	8億 3,382万円	6億 1,567万円	73.8%	5億 8,891万円	70.6%
合計	203億 8,183万円	109億 324万円	53.5%	115億 6,646万円	56.7%

※一般会計からの繰り入れ、市債の借入れ等は年度末に入るため、現時点で支出が収入を上回っています。しかし、一般会計を含めた全会計では、収入が支出を上回っているため、一時借り入れは行っていません。

## 水道事業の収入と支出

		予算現額 (12月末)	収入済額 支出済額 (4-12月)	予算に対する割合
収益的収入および支出	収入	5億7,157万円	3億4,505万円	60.4%
	支出	5億5,216万円	2億149万円	36.5%
資本的収入および支出	収入	1億1,870万円	1億330万円	87.0%
	支出	2億1,652万円	6,383万円	29.5%

土地	204万7,842.86平方メートル
建物	26万2,838.50平方メートル
基金	126億1,611万円
有価証券・出資金など	4億536万円

基金は、将来のために蓄えておく預貯金のこと、必要に応じて取り崩して利用しています。主なものは、財政調整基金（約30億円）、減債基金（約10億円）、庁舎整備基金（約28億円）、公共施設整備基金（約15億円）などがあります。

## 平成30年度 特別会計予算

### 収入と支出の状況

特別会計は、使用料や保険料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。現在市には、水道事業を含め、九つの特別会計があります。

特別会計全体の当初予算額（水道事業会計を除いた額）は197億3815万円

でしたが、前年度からの繰越額1億7500万円、補正予算額4億6868万円を加えて、昨年12月末の予算現額は、203億8183万円です。12月末までの収入額は109億324万円（予算に対する収入割合は53・5％）、支出済額は115億6646万円（予算に対する支出割合は56・7％）です。

※水道事業については使用料により運営される企業会計となっています。



▲今年1月4日に開庁した市役所新庁舎

## 市の財産とは？

財産とは、家計にたとえると、貯金や持ち家のことをいいます。

市が所有している財産のうち、土地・建物の主なものは、市役所庁舎・小中学校・公民館などの施設やその敷地などです。

基金は、将来のために蓄えておく預貯金のこと、必要に応じて取り崩して利用しています。主なものは、財政調整基金（約30億円）、減債基金（約10億円）、庁舎整備基金（約28億円）、公共施設整備基金（約15億円）などがあります。

## 市債（借入金）とは？

市債とは、一般家庭でいう住宅ローンなどの長期借入金のことで、道路整備や学校建設などに利用します。大きな施設は、長期間、世代を超えて市民に利用されるため、市民が公平に負担するという観点から、整備時に借り入れし、時間をかけて返済します。

平成30年12月31日現在の市債残高は約455億円で、平成29年12月末より16億円ほど減っています。

会計名	市債額 (借入残高)
一般会計	277億8,417万円
下水道事業	141億4,215万円
農業集落排水事業	21億290万円
介護サービス事業	1,028万円
水道事業	14億3,543万円
合計	454億7,493万円

問 財政課（本庁）  
237293

## 一般会計収入

	予算現額 (12月末)	収入済額 (4-12月)	予算に対する割合	説明
市税	97億 6,066万円	75億 8,123万円	77.7%	市民税や固定資産税など
地方譲与税	4億 3,410万円	2億 8,149万円	64.8%	国税から配分される収入
地方消費税交付金	12億 7,940万円	9億 7,703万円	76.4%	地方消費税から交付される収入
地方交付税	70億 3,195万円	66億 3,672万円	94.4%	国から交付される収入
分担金・負担金	3億 4,430万円	2億 3,818万円	69.2%	受益者からの分担金・負担金など
使用料・手数料	2億 4,861万円	1億 6,974万円	68.3%	施設の使用料や証明手数料等
国庫支出金	43億 7,851万円	26億 5,682万円	60.7%	国から特定事業等に交付される補助金・委託金等
県支出金	21億 5,786万円	4億 1,220万円	19.1%	県から特定事業等に交付される補助金・委託金等
諸収入	7億 6,087万円	3億 1,122万円	40.9%	預金利子や貸付金元利収入等
市債	43億 1,760万円	0円	0.0%	公共施設整備等のための借入金
その他	45億 712万円	16億 9,771万円	37.7%	ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金等
合計	352億 2,098万円	209億 6,234万円	59.5%	

## 一般会計支出

	予算現額 (12月末)	支出済額 (4-12月)	予算に対する割合	説明
議会費	2億 6,915万円	2億 1,315万円	79.2%	議員報酬・議会運営等の経費
総務費	75億 3,385万円	33億 7,402万円	44.8%	庁舎管理・市税の賦課徴収・選挙等の経費
民生費	115億 1,454万円	64億 4,749万円	56.0%	福祉事業・生活保護等の経費
衛生費	23億 8,293万円	14億 6,241万円	61.4%	医療・環境対策・ごみ処理等の経費
農林水産業費	10億 2,555万円	4億 3,985万円	42.9%	農林水産業の振興等の経費
商工費	7億 632万円	5億 3,586万円	75.9%	商工業の振興等の経費
土木費	39億 8,855万円	11億 5,856万円	29.0%	道路・公園等の建設や維持管理の経費
消防費	13億 7,626万円	10億 822万円	73.3%	消防・防災・救急活動・消防団等の経費
教育費	32億 6,313万円	19億 777万円	58.5%	学校・幼稚園・公民館・図書館・文化振興等の経費
公債費	27億 8,371万円	12億 7,117万円	45.7%	市債（借入金）の返済経費
その他	3億 7,699万円	274万円	0.7%	労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費等
合計	352億 2,098万円	178億 2,124万円	50.6%	

### 支出の予算に対する割合について

土木費は、事業完了後の支払いが多いため、割合が低く、その他の科目も、繰出金など年度末の状況を勘案し支出するものが多いため、現時点で割合が低めです。

### 収入の予算に対する割合について

国・県支出金などは、多くは事業完了後の収入となるため、現時点での割合は低くなっています。市債は、事業完了後に借り入れるため、現時点では未収入です。